

個別 マッチング



取材 レポート集



KAKAMIGAHARA

CONTENTS

まちづくり担い手マッチングとは	---	p. 1
ミニ交流会	-----	p. 2
個別マッチングレポート	-----	p. 6
次年度以降のお知らせ	-----	p.22
きっかけツール「ラブレター」	-----	p.23
事業参加申込書	-----	p.24

まちづくり担い手マッチング事業とは

様々なテーマで活動している「まちづくり活動団体」同士が結び付ききっかけを作り(つながりづくり)、団体の得意なこと・できることが提供できる場を広げる(マッチングする)ことで、「地域の困りごと」を「地域で解決」していく「市民によるまちづくり」の促進を図ることを目的としています。(総合計画：基本目標① 思いやりとふれあいのある協働のまち)

「市民活動団体」「クラブサークル」「個人」「自治会」「企業」など、
地域に貢献する様々な主体＝担い手が結び付ききっかけを提供し、「つながりづくり」を促進します。

「マッチングリスト」掲載



交流機会の提供



きっかけツール「ラブレター」



また、事業をきっかけに団体同士がつながりあった様子は、取材を経て、ホームページ等でご紹介します。

Q. 担い手同士が結び付くと、どんなところが良いの？

A. 困難に思えることの実現可能性が高まり、公的制度の狭間にある課題にもアプローチしやすくなります。

1つの団体ではできないことも、複数の団体が連携することで、資金的・人的な余裕や、周囲からの応援が増えるなど、実現可能性が高まります。

市は、制度にないこと・予算にないことに対応する際、民間での動きに比べて制限が大きく時間もかかる傾向があります。公的制度の狭間にあり、市ではすぐに解決することが困難な問題にも、志ある民間団体同士の自由な連携により、スピーディに対応できる可能性があります。

Q. 参加にはどんな条件があるの？

A. 非営利の活動を行っている・または非営利の活動を応援したい意思をお持ちの団体が対象です。

団体同士を主としますが、事業の目的に沿う内容であれば、個人や企業による参加も相談に応じます。自団体のPRのみ・会員の増加のみを目的とした団体、政治活動・宗教活動を目的とした団体は参加できません。また、宗教・ビジネスへの勧誘は、固くお断りします。

まちづくり担い手マッチング参加団体の情報（マッチングリスト）やこの取材レポート集でご紹介している個別マッチング事例は、各務原市役所のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.city.kakamigahara.lg.jp/life/shiminsanka/1001857/1001933/1011043.html>



令和2年12月19日事業開始以降、令和7年2月28日までに220事例の団体・個人・法人による協働を取材してきました。また、令和7年2月28日時点で、125の団体・法人・個人が参加し、団体情報を掲載中です。

1. 超少子高齢化社会の『共助』を語ろう

日時：令和6年5月21日（火）午後1時30分～3時

マッチングコーディネーター：堀田みさ子さん

場所：市民交流スペース



「身の回りにある共助」、「これから求められる共助」、「こういう共助を手伝いたい」

といった意見を共有。全体共有を経て、さらに「こういうことなら自分たちもでき

そう！」という意見も出し合いました。全体共有では、マッチングコーディネーターの堀田さんが協働へのアドバイスをを行いました。近隣ケアでの活動経験などから、「負担の少ない活動に見直した結果、30代、40代の方も手を挙げてくださるようになった。」「手を挙げてもらいやすいように工夫も必要」など具体的な例を話され、参加者からは「大変参考になった。」という声がありました。

- あい子ども相談
- WB.T（ウッドバーニング）
- カー&タイヤ グリーンスマイル
- 各務原市フレイル予防健康会
- 耀く大野町まちづくり委員会
- 川島防災クラブ
- 岐阜友の会
- 清住町ふるさと創生会
- グラスアート 花 Temari
- 株式会社すずらん
- 性教育団体「いのちの授業」ここいく
- ハッピーノルディックウォーキング
- 一般社団法人まちのごえん
- 八木山自主防災会
- Lily-mimi（グリーンケア）
- パウンスパーク各務原
- スキルアップクラブ

（17団体 21人）

2. 水辺で乾杯！ in 木曽川

日時：令和6年7月7日（日）午後6時～6時50分

場所：各務原大橋交流広場



- WB.T(ウッドバーニング)
- Everyone's home みんなのいえ
- 各務原木曽川かわまちづくり会
- 耀く大野町まちづくり委員会
- カフェリーべるて
- 木曽川河畔の文化的景観を守る会
- 一般社団法人健康応援隊
- ハッピーノルディックウォーキング
- ほ・ほ・え・み・会
- SkyShot
- スタジオアテナ
- 大樹 39salon
- プラスデザインスタジオ ほか

（13団体と個人の合計 31人）

各務原木曽川かわまちづくり会の呼びかけで、ミニ交流会が実現。各団体の日頃の具体的な活動内容が紹介され、木曽川河川敷の有効利用や地域住民の意識向上、持続可能な環境保護活動の推進に向けて、今後の活動に向けた意見交換が行われました。会場となった各務原大橋交流広場の東屋の天井には鵜沼宿町屋館からお借りした「光る風鈴」を、中山道鵜沼宿ボランティアガイドの会の会員からの提案で飾り付けました。

ミニ交流会の後、7時7分には、「水辺で乾杯」のイベントが行われ、ほ・ほ・え・み・会が手品を、アテナがベリーダンスを披露しました。

3. 安全安心のウォーキングルート情報共有会議

日時：令和6年9月6日（金）午前10時～11時30分

マッチングコーディネーター：真野敏さん

場所：市民交流スペース



- オフィス M
 - 各務原木曾川かわまちづくり会
 - 各務原市フレイル予防健康会
 - 耀く大野町まちづくり委員会
 - 清住町ふるさと創生会
 - 一般社団法人健康応援隊
 - 中山道鶉沼宿ボランティアガイドの会
 - ハッピーノルディックウォーキング
 - 一般社団法人まちのごえん
- (9 団体 11 人)

ハッピーノルディックウォーキングからのラブレターをきっかけに、ウォーキングルートの共有と活用がテーマのミニ交流会を開催。

各団体の活動紹介を交え、各自が作成している地図やおすすめのウォーキングルートのおすすめポイントを紹介し合いました。

既存ルートや地図、団体の行うサービスの相互活用について話し合われたほか、連携して取り組んでみたいさまざまな活動について意見を出し合いました。市内各地の史跡を含む22のルートを持つ、中山道鶉沼宿ボランティアガイドの会からは、「まず一度、みんなでこのルートを歩いてみませんか。」と具体的な提案がありました。

後日開催

4. 旧蘇原町を一緒に歩こう

日時：令和6年11月20日（水）午前10時～11時30分

マッチングコーディネーター：中山道鶉沼宿ボランティアガイドの会

場所：蘇原コミュニティセンター会議室



- 各務原市フレイル予防健康会
 - 清住町ふるさと創生会
 - 中山道鶉沼宿ボランティアガイドの会
 - ハッピーノルディックウォーキング
- (4 団体と個人の 12 人)

「安全安心のウォーキングルート情報共有会議」での提案をきっかけに、蘇原の史跡を巡るルートを歩きながら情報共有を図るマッチングミニ交流会を開催しました。史跡を中心に災害用マンホールトイレの存在など最新の情報も含め、解説を聞きながら歩きました。

歩き終わりの交流では、参加者から

「70年蘇原に住んでいますが、知らないことだらけで勉強になりました。ガイドブックを活用したいと思います。」

「健康を維持する活動に、ガイドの情報を組み込んでみたいと思います。」

「ガイドの仲間になってみたいです。」

「こうしたよい情報を、外から訪れた人が知らないことはもったいないので、知ってもらうきっかけとなる情報発信をしていきたいです。グループを作りませんか。」

「外国にルーツを持つ方々の団体にガイドをしたことがないので、ぜひ仲間を連れて鶉沼宿にも訪れてください。」といった言葉がありました。

番外編。地域コミュニティ活性化シンポジウム 意見交流会

日時：令和6年10月5日（土）午後4時～5時

場所：産業文化センター2階第3会議室



- 地域コミュニティ活性化シンポジウム参加者 7人
- 岐阜大学 名誉教授 富樫幸一さん
- 耀く大野町まちづくり委員会 事務局長 鈴木智晴さん
- キッズボランティアリトルハンド 代表 松田紗希さん
- 愛知県豊川市南山町内会 ICT 推進員 北澤邦俊さん
- 蘇原自治会連合会 会長 並木祐之さん

(12人)

市主催「地域コミュニティ活性化シンポジウム」終了後に意見交流会を行いました。
 「新しい住民と昔から住んでいる住民との間で考え方が異なることに困難を感じる。」
 「声の大きな人の意見が優先されがちなところをどうしたらよいか。」
 「電子回覧板の活用が顔見知りをつくることにつながり、防災時に役立ちそう。」
 「シンポジウムに参加して、新しいつながりの可能性を感じた。」
 「毎年代表者が交代する組織だけでなく、長期的に携わる存在も必要。」
 「強制されるとやりたくなくなるので、自主的に動けるよう楽しさを見せたい。」
 「最初はどんな関わり方でも認めて感謝する姿勢が大事。」などの意見がありました。

パネル展示

日時：令和6年10月5日（土）～20日（日）

場所：産業文化センター21 プラザ

『地域とのつながり』をテーマに『まちづくり活動パネル展示』を行いませんか？
 という市からの呼びかけに応じた団体が、さまざまな工夫を凝らして展示を行いました。地域コミュニティ活性化シンポジウム当日は多くの方が展示を見て、団体の存在を認識。新たなつながりの可能性を感じられる場となりました。

地域活性化シンポジウム

まちづくり活動パネル展示

- 八木山地区社会福祉協議会
- 木曾川河畔の文化的景観を守る会
- 各務原木曾川かわまちづくり会
- 耀く大野町まちづくり委員会
- 各務原市フレイル予防健康会
- 各務原市ラジオ体操連盟
- もーやっこサークル
- 中山道鶴沼宿ボランティアガイドの会
- 濃尾・各務原地名文化研究会
- NPO 法人 Bee.フレンズ
- 国境なきレクリエーション
- 一般社団法人健康応援隊
- 株式会社すずらん
- 株式会社エスウッド

(14団体)



5. 考えよう、人権啓発

日時：令和6年11月30日（土）

午前11時15分～正午

場所：産業文化センター2階第3会議室

- 性教育団体「いのちの授業」ここいく
- オフィス M
- 手をつなぐ障がい啓発キャラバン
- 木もれ陽@犬山 ほか (計12人)



各務原市人権講演会（LGBT講演会）の開催後に、感想の共有や各自にできる人権啓発について話し合うことを目的としたマッチングミニ交流会を開催しました。参加者には日頃から人権啓発に取り組む方、LGBT当事者の方、初めて人権を考える場に足を運んだとおっしゃる方もいらっしゃいました。LGBT講演会で講師を務めた中村文亮さんを含め、12人が意見を交わしました。

参加者からは、

「生き方や考え方に正解はない。違いを受け入れたいと思った。言わないだけで、悩みがある人は身近にいる。」

「大きな講演会で多数に伝えることも必要だが、小さな集まりで個別に意見を伝えあえる場も必要。」

「ALLY（マイノリティ当事者ではないが、受け入れ、理解がある人のこと）を増やしたい。」

などの意見がありました。

6. 自然系ワークショップに興味のある人、集まれ～

日時：令和7年3月7日（金）午後7時～9時

場所：市民交流スペース

- HINADORI（ひなどり）プロジェクト協議会
- 株式会社エスウッド
- 各務原木曾川かわまちづくり会
- 坂崎 梨沙
- 飼育サポート ManMal（まんまる）
- プラスデザインスタジオ
- 若田拓也 (7団体8人)



ミニ交流会では、各団体が連携の可能性を考えました。

HINADORI プロジェクト協議会の小野さんと、HINADORI プロジェクトでワークショップ講師を担うプラスデザインスタジオのセニガリエズィさんからのプロジェクトの紹介のあと、参加者からは、

「こうした取り組みを応援したいと思っているので、どんなことができそうか、今後、プロジェクトに関わりながら探っていきたいと思います。」

「これまでもチラッと話を聞いていたが、直接会って初めて、具体的な目的や想いを理解することができたので、今後呼びかけをしていきたいです。」

「自然物を使った小物も面白そう。今後関わりながら、可能性を考えていきたいです。」

「単純にプロジェクトを『面白そう』と感じて参加しました。参加者として関わりたいです。」

などの意見が出されました。

各務原木曾川かわまちづくり会は、自団体がフィールドとする木曾川北派川地域の活性化につながる活動を歓迎し、連携の可能性について話されたほか、会の取り組みを紹介しました。

令和6年度も、まちづくり担い手マッチング事業参加団体からの希望に応じてミニ交流会を開催予定です。



個別マッチングレポート

団体の皆さんからいただいた情報を頼りに協働の様子を取材しています。
 今回は、令和6年3月1日～令和7年2月28日までに行われた個別マッチングを、ピックアップしてご紹介します。
 ウェブサイトでは過年度から最新のものまで時系列で掲載中です。

各務原 まちづくり担い手マッチング

検索

今年も協働されています！

令和5年度以前から、継続して協働されている事例です。（一部内容は、紙面の都合により、別カテゴリでご紹介しています。）

■ 第3回かかみがはら木曾川春の凧あげ会

日時：令和6年3月17日（日）午前9時～午後3時
 場所：国営木曾三川公園 かさだ広場



- 各務原木曾川かわまちづくり会
- SkyShot
- 岐阜県立岐阜各務野高等学校ボランティア部（虻凧作成、受付・凧作り教室補助・凧あげ）
- 岐阜県立各務原西高等学校ボランティア部（受付・凧作り教室補助・凧あげ）
- 中部学院大学 有志ボランティア（音響・凧作り教室補助）
- 各務原市立稲羽西小学校（連凧制作）

凧作り教室には幼稚園から小学生までの22人が保護者とともに参加。講師は凧作り名人の平林弘人さんが担い、高校生・大学生が各務原木曾川かわまちづくり会メンバーとともに子どもたちの凧作りを手伝いました。凧あげでは、参加者の凧とともに、各務原市立稲羽西小学校の児童が作成した連凧や、会のメンバーや岐阜各務野高校ボランティア部が制作した虻凧が空を舞いました。また音響や記録撮影をSkyShotが担当しました。

■ 第3回かわまちランバイク大会

日時：令和6年6月29日（土）正午～午後5時
 場所：各務原市総合運動公園芝生広場



- 各務原木曾川かわまちづくり会
- 岐阜県立岐阜各務野高等学校ボランティア部
- 競輪選手 川口公太朗さんほか
- おかずちゃん
- JA ぎふ稲羽西支店
- まちづくり推進課

ボランティアの皆さんは、司会、受付、スタート、ゴール、運営などの役割に分かれ、ランバイク大会の運営をサポートしました。まちづくり推進課の交通専任指導員による交通安全教室も開催され、小学生児童が、交通安全教室でのヘルメット着用モデルとして活躍しました。おかずちゃんは、日頃のライブ配信で培った機転の利いたトーク力を生かしてライブアナウンスを行い、イベントを盛り上げ、競輪選手はレースの合間に来場者のスピード計測イベントを提供。JA ぎふ稲羽西支店はコーンホールという子ども向けの遊びを提供しました。

■ バルーン王国 2024（BALLOON 王国～こびとの世界～）

日時：令和6年11月3日（日・祝）午前10時～午後5時
 場所：KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE

- KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE
- 松田接骨院

マーケット日和 2024 での「バルーン王国」は、「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE が有料施設として切り離された形ではなく、令和5年度同様にマーケット日和とのつながりが感じられるような場づくりを」と立案。協力者の松田さんは令和5年度の反省で出された他団体の意見をフィードバックし、より関わる団体の意向に沿った活動をしてもらえるよう調整しました。



■ 清住町夏休みふれあい大会

日時：令和6年8月4日(日)午前8時～9時30分
場所：清住町公民館

- 各務原市ラジオ体操連盟
- 清住町連合自治会
- 緑生会
- 近隣ケア清住サロン
- 清住町子ども会育成会



清住町子ども会主催の清住町の子どものためのお祭り「清住町夏休みふれあい大会」において、各団体が協力して開催し、小学生25人がラジオ体操、クローケー、カローリング、手作りパズルを楽しみました。清住町連合自治会長の川崎さんは、「子どもたちが少なくなってきており、空き家も目立ち、担い手も少なくなっているが、こうした楽しみを無理なく経験させてあげられる状態を時代に応じて維持していき、魅力ある地域であり続けたい。」と話されました。

■ おさかなさん観察会

日時：令和6年8月7日(水)午前10時～正午
場所：自然共生研究センター実験河川 最上流

- 各務原木曾川かわまちづくり会
- 国立研究開発法人土木研究所 自然共生研究センター
- 中部学院大学 学生ボランティア
- 中部大学 学生ボランティア
- 名古屋市立大学 学生・教員ボランティア
- 岐阜県立各務原高等学校 学生ボランティア
- 岐阜県立岐山高等学校 学生ボランティア



自然共生研究センターの実験河川最上流で小学生とその保護者19組(38人)が魚の観察会を開催。自然共生研究センターの協力のもと、参加者たちは川に入り、たも網を使って魚を捕まえる貴重な体験を楽しみました。高校・大学から参加した計14人のボランティアがイベントを支えました。

■ 鶺鴒宿のひな祭り

日時：令和7年1月23日(木)～2月5日(水) (産業文化センター1階エントランスホール プレ展示)
令和7年2月8日(土)～3月9日(日) (中山道鶺鴒宿協本陣 開催)

主催：

- 中山道鶺鴒宿町屋館・協本陣
- 中山道鶺鴒宿ボランティアガイドの会
- 中山道鶺鴒宿まちづくりの会
- 各務原吊り雛プロジェクト

協力：

- 各務原市観光協会
- 鶺鴒宿のゆかいな仲間達
- 手仕事の日
- サークルささゆり (白川町)
- コスモスキルト
- 切り絵草の会
- 映像制作団体地元びいす
- NPO 法人竹林救援隊
- 一服茶屋花の木
- 珈琲陣家鶺鴒店
- 菊川株式会社
- ジャズシンガーChia
- 濃姫まつり実行委員会
- 呉服のウメショウ



鶺鴒宿のひな祭りにおける、吊り雛飾りは、今回で3回目。令和4年度のミニ交流会をきっかけに誕生した「各務原吊り雛プロジェクト」が吊り雛作りを進めており、近隣事業者の皆さんも展示に協力しています。今年は、ライアーのコンサートの開催や、第6第濃姫まつりグランプリの濃姫達による戦国衣装での来宿などもありました。

災害に対してできることを、一緒に

■ 能登半島地震災害義援金の募金活動で連携

日時：令和6年4月7日（日）午前10時～12時

場所：各務原市民公園

- 国際ソロプチミストかかみ野
- キッズボランティア リトルハンド
- 岐阜各務野高校ボランティア部



国際ソロプチミストかかみ野、キッズボランティア リトルハンド、岐阜各務野高校ボランティア部が協力し、桜まつりの会場である市民公園において令和6年能登半島地震災害義援金の募金活動を行いました。募金を行った来場者には、花苗を手渡していました。

小学生・中学生・高校生から、その親世代など、幅広い世代と一緒に活動しました。

■ もーやっこサークル 「いきる！つながる！！そなえる！！防災」

日時：令和6年5月25日（土）・26日（日）午前10時～午後4時

場所：各務原市民公園

<もーやっこサークル出展>

- カー&タイヤグリーンスマイル
- 輝く大野町まちづくり委員会
- 川島防災クラブ
- 岐阜友の会
- 一般社団法人健康応援隊
- SkyShop
- 株式会社すずらん
- 性教育団体「いのちの授業」ここいく
- 株式会社ダイナム
- 長坂条莉
- ハッピーノルディックウォーキング
- ピカケ
- NPO 法人ひだまり創
- プアケニケニ
- フラサークル ウリウリガール
- 結愛ポート
- 大野町自治会
- 紙芝居ミッチャンみちみち
- 恵風舎ぽかぽか
- 株式会社五月商店
- 女性専門整体院「温」
- 睡眠改善サロン ZEN
- 鈴木豪郎
- Straycat.lady
- ハグミアイ
- 株式会社 MAREM

<協力>

- 株式会社良品計画
- 一般社団法人かかみがはら暮らし委員会



株式会社良品計画と一般社団法人かかみがはら暮らし委員会の主催する防災イベント「いつものもしも CARAVAN」の中のブース「もーやっこサークル：地域防災団体によるイベント」として、もーやっこサークルが「いきる！つながる！！そなえる！！防災」を実施しました。

令和5年度ミニ交流会がきっかけで発足した「もーやっこサークル」が、まちづくり担い手マッチング事業登録団体や、近隣で活躍するボランティア団体・個人に、イベントへの参加を呼びかけて、出展団体・ステージ出演団体が集まりました。17団体を軸に多くの団体・法人・個人が協力しました。出展団体や出演団体は、自分達ができる防災をテーマに創意工夫を施して、来場者にさまざまな防災の紹介をしました。

■ 大野町防災イベントに協力

日時：令和6年9月22日（日曜日）午前9時～11時30分

場所：大野町公民館

- 大野町自治会
- 耀く大野町まちづくり委員会
- 近隣ケア カトレア会
- 大野町子ども会
- 各務原市消防本部、消防団
- 稲羽西地区社会福祉協議会
- Sky Shot
- 株式会社ダイナム



【協賛】

- イオン株式会社
- NEXCO 中日本サービス株式会社

耀く大野町まちづくり委員会の運営により大野町自治会の防災イベントが開催され、住民およそ110人が参加しました。

防災イベントでは、地域の消防団や近隣ケア、子ども会が協力してイベントを支えました。市消防本部による救急救命講習、AED講習が行われたほか、Sky Shotが放水訓練の様子を空撮、子どもたちにはシミュレーター体験や小型ドローンの操縦体験を提供して災害時ドローンの活用を紹介。市と災害時応援協定を結ぶ株式会社ダイナムもイベントに協力し、ビンゴ大会などにはキャラクターの着ぐるみで登場して盛り上げました。ビンゴ大会の景品には防災グッズが提供されました。

■ 雄飛ヶ丘自治会主催 ドローン体験教室

日時：令和6年8月7日（水）午前9時30分～正午

場所：雄飛ヶ丘公民館

- 雄飛ヶ丘自治会
- SkyShot

雄飛ヶ丘自治会主催でドローン体験教室が開催され、SkyShotが講師を担いました。地域住民やふれコミ隊の生徒が参加し、シミュレーターや実機でドローン操作を体験しました。



■ 豚汁交流会

日時：令和6年10月19日（土）午前10時～午後1時

場所：株式会社OK あぐり

- 手をつなぐ障がい啓発キャラバン隊
- 株式会社OK あぐり（農福連携により障害のある方が働く事業所）
- ぶめぶめ村



交流会では、災害時の炊き出しをイメージして、大鍋で豚汁を作り、防災グッズ「ハイゼックス（簡単にごはんが炊ける炊飯用ポリ袋）」を利用してご飯を炊きました。野菜はOKあぐりから提供されました。こんにゃくは地元の方から提供されました。炊き出しや配膳は、民生委員・自治会・ボランティアの皆さんが協力されました。食事の後には、ぶめぶめ村による演奏があり、参加者全員が大いに盛り上がりました。

■ こども食堂と防災炊き出し訓練をボランティア支援

日時：令和7年2月2日（日）午前11時30分～午後2時

場所：三ツ池第一公民館

- 各務原剣道クラブ
- 地域のつながりづくり隊
- 三ツ池防災推進委員 ほか

地域のつながりづくり隊が主催する「こども食堂・地域食堂 あいのね広場」と、同時に開催されることになった「防災 炊き出し訓練」に、各務原剣道クラブに通う中学生（15人）がボランティアとして参加し、イベントをサポートしました。剣道クラブの皆さんは、防災士からハイゼックス利用のご飯の作り方などを学び、当日来場する人につくり方を説明する役割を担ったほか、出来上がった豚汁を、来場者に配膳しました。「こども食堂・地域食堂 あいのね広場」では、剣道クラブの皆さんが、食事が終わった子ども達と一緒に遊び、人と人とのつながりづくりを経験。また、防災士の村越松郎さんが、防災クイズを行いました。



多様性を相互理解して協働

■ 地域映画の海外上映に向けた翻訳作業で連携

日時：令和6年4月10日（水）午前10時～11時

場所：Zoom ミーティング

- 各務原映画祭実行委員会
- 創作オペラ「貞奴」プロジェクト
- 国境なきレクリエーション
- フロリダ州日本語協会 ほか



各務原映画祭実行委員会が川上貞奴の生誕150周年をきっかけに制作した映画「貞奴、大いに笑う」がハンブルグ日本映画祭で上映されることになり、海外上映に伴い英語字幕が必要となったことから、映画監督を務めた大野さんが国境なきレクリエーションの浅野さんに相談。浅野さんがフロリダ州日本語協会会長のTakami Taylorさんに声をかけたところ快諾され、日本語が堪能な学生であるCatherineさんが中心となって翻訳に協力をしていただくことになりました。映画の一部には、川上音二郎が明治時代に時世を風刺して歌った「オッペケペー節」が使われ、自由民権運動などの歴史的背景を含むことから、創作オペラ「貞奴」プロジェクトの藤田さんが事前に日本語での意訳や英語の仮翻訳を提出するなどし、時代背景や言葉の意味を説明しました。

■ つながる THERE 所祭（ぜえあしよさい）

日時：令和6年5月5日（日）午前10時～午後3時

場所：学びの森

- 国境なきレクリエーション
- カフェハノイフォー など



国境なきレクリエーションが主体となり、「つながる There 所祭」を開催しました。だれもが実家にいるような場所に、という思いで、岐阜弁で実家を指す「在所」のネイティブ発音「ぜえあしよ」と発音が似ている「There」をかけてイベントタイトルをつけたそうです。会場では、各務原国際協会が主催する日本語教室や KIA フェスティバル、国境なきレクリエーションが主催する日本語オンラインなどでつながりのある外国人などが中心となってステージを楽しんだり、俳句の先生と一緒に俳句を詠んだりする時間が設けられたほか、子どもたちが提供するブースもあり、子どもから大人まで「自分にできること」で協力し合って場がつけられていました。岐阜各務野高校や中部学院大学に通う学生も運営に協力しました。

■ ごちゃまぜデイキャンプ

日時：令和6年6月22日（土）午前9時～午後2時15分

場所：各務原市少年自然の家

- 手をつなぐ障がい啓発キャラバン隊
- ぶめぶめ村
- ごちゃまぜアートの会
- 岐阜各務野高等学校ボランティア部



手をつなぐ障がい啓発キャラバン隊が、障害のある人やない人や子どもから大人までいろんな人がごちゃまぜに集まって楽しむ「ごちゃまぜデイキャンプ」を開催し、小中学生、障害者、高校、大人、指導者の合計54人が参加。参加者は、障がいのある人となない人の垣根を超えた、楽しい一日を過ごしました。午前の「ごちゃまぜアート」では、みんなで自由に大きな絵を描きました。ごちゃまぜアートの会が中心となり、岐阜各務野高等学校ボランティア部が画材の準備などを手伝いました。昼食は、みんなで、牛乳パックを使ったホットドックを作りました。午後のお楽しみ「ぶめぶめ村の親子チンドン」では、色鮮やかな衣装に身を包んだぶめぶめ村メンバーの楽しい演奏がみんなの心を捉えました。

■ 日本語教室の生徒が「よさこい」を体験

日時：令和6年7月17日・31日（水）午後7時～9時

場所：蘇原福祉センター

- グローカルファミリー
- かかみがはら炎舞連



グローカルファミリーで日本語を学ぶ外国人生徒たちが、同じ施設で練習を行っていたかかみがはら炎舞連のよさこいに興味を持ち、活動を見学しました。見学がきっかけとなり、かかみがはら炎舞連からの申し出により、改めてよさこいを体験する時間が設けられました。

■ スターバックス コーヒー イオンモール各務原店と各務原国際協会が KIDS PARTY を開催

日時：令和 6 年 8 月 3 日(土)午前 10 時～11 時
場所：スターバックス コーヒー イオンモール各務原店

- スターバックス コーヒー ジャパン株式会社
- 国境なきレクリエーション
- 各務原国際協会



スターバックス コーヒー イオンモール各務原店で、国際協会との共催イベントとして kids party が開催されました。

普段イベント情報が得にくい海外にルーツを持つ子どもたちへバリスタ体験が提供され、小学校 1 年生から 6 年生の子ども 6 人が参加しました。店舗と国際協会との間に立ち、調整役を担われた「国境なきレクリエーション」の浅野さんは、取材に対し、「海外の出身であり日本で育つ子どもたちが、自分と同じような立場で活躍している大人と触れ合う機会が多くないので、外国人店員のモンハさんの活躍をみて将来をイメージするきっかけになれば嬉しいです。」と、子どもたちへの想いを語りました。

各務原国際協会の事務局を務める市観光交流課職員は、イベント開催にあたり、外国人にも参加しやすいよう周知や受付を担ったほか、当日は参加者家族とコミュニケーションを取りながら活動をサポートしました。

■ 虹の家 ラジオ体操

日時：令和 6 年 12 月 23 日(月) 午前 10 時～11 時 30 分
場所：総合福祉会館 3 階

- 虹の家(就労継続支援 B 型施設)
- 各務原市ラジオ体操連盟
- 各務原市社会福祉協議会



各務原市ラジオ体操連盟が虹の家の参加者 35 人にラジオ体操と脳トレ体操を提供しました。

ラジオ体操の後には、巨大なサイコロを転がして、出た目の数だけ全員で拍手して、リズムカルな拍手の音が室内に響き渡りました。手の関節を柔らかくする体操では、手の関節を、いろいろな方向に回して、リラックスタイムを取りました。最後は、ジャンケン大会となり、負けた人が勝ったひとの肩に手を置いて、人間列車ができました。各務原市ラジオ体操連盟の皆さんは「ラジオ体操を通じて、皆さんの心と体の健康に貢献できれば本望です。」と話されました。

■ ドローン体験会

日時：令和 6 年 11 月 24 日(日) 午後 2 時～4 時
場所：蘇原福祉センター

- NPO 法人 Bee フレンズ
- SkyShot

NPO 法人 Bee フレンズが、障がいがある方の余暇活動支援のイベントとして、SkyShot にドローン体験会を依頼。SkyShot が、ドローンの説明・操作方法の説明・体験フライトを行いました。障がいを持つ方の中には、操作中の力の入れ具合が加減できず、上手に飛ばすことが出来ない方もありましたが、その様子を見た杉山さんが、臨機応変に手を添えるなど補助を行い、全員が楽しむことが出来ました。



■ 木曾ポタ・パークリンク大会で無料配布される塩麦茶飴が完成

日時：令和 7 年 2 月 25 日(火) 午後 2 時～3 時
場所：豊桑産業株式会社

- ボランティア団体笑夢(えむ)
- 木曾川河畔の文化的景観を守る会
- 豊桑産業株式会社
- 株式会社 HOAO(ホアオ)



豊桑産業株式会社が購入し、ボランティア団体笑夢と株式会社 HOAO(障害者就労継続支援 A 型事業者)の手によるオリジナルラベルを貼った塩麦茶飴が、3 月 16 日(日)に開催の第 1 回木曾ポタ・パークリンク大会で参加者に無料配布されることとなりました。今回各団体を互いに紹介した、木曾川河畔の文化的景観を守る会代表で、木曾ポタ・パークリンク実行委員の加藤さんと、ボランティア団体笑夢代表の高木さんが、豊桑産業株式会社代表取締役副社長の織田さんを訪問し、塩麦茶飴 600 個の完成報告をしました。

各地域のフレイル予防に協力

■ NEW はつらつ八木山マルシェ

日時：令和6年5月4日(土)午後1時～午後3時
場所：鶴沼地区体育館

- 八木山地区社会福祉協議会
- 八木山フレイル予防部会
- 各務原市フレイル予防健康会
- ハッピーノルディックウォーキング



八木山地区社会福祉協議会の主催、八木山フレイル予防部会・各務原市フレイル予防健康会・ハッピーノルディックウォーキングの協力で、NEW はつらつ八木山マルシェの第1回が開催されました。ハッピーノルディックウォーキング代表の豊倉さんは「健康ワーキングショップ 姿勢と歩行の科学」を提供。各務原市フレイル予防健康会代表の真野敏さんは、「ほぐし体操・脳トレ・カローリング競技」を提供しました。

■ ボランティアハウス清住サロン出前講座

日時：令和6年5月13日(月)午前10時～11時50分
場所：清住町公民館

- ボランティアハウス清住サロン
- 各務原市フレイル予防健康会
- 紙芝居ミッチャンみちみち



ボランティアハウス清住サロンから依頼を受けた各務原市フレイル予防健康会が、紙芝居ミッチャンみちみちの協力を得て、講座を開催。紙芝居ミッチャンみちみちの紙芝居ではサギへの注意喚起も行いました。各務原市フレイル予防健康会は腰かけて楽しむ脳トレや体操を行いました。

■ 椅子ヨガとフレイル予防体操で充実講座を提供

日時：令和6年5月14日(火)午前9時30分～11時30分
場所：中央ライフデザインセンター

- 各務原市フレイル予防健康会
- calm heart Yoga (カームハートヨガ)



中央ライフデザインセンターが主催する「しこうのじかん」で、37名が「フレイル予防体操と脳トレ体操で笑顔づくり」を楽しみました。各務原フレイル予防健康会の真野さんは「いろんな人と一緒に活動することで、参加者にバラエティに富んだメニューを提供出来ていると思います。」と話しました。また、calm heart Yogaの岩城さんは「真野さんに声を掛けてもらい、活動範囲が広がっています。」と話しました。

■ 中央町ボランティアハウス ひまわり会

日時：令和6年9月12日(木)午前10時～11時30分
場所：中央町公民館

- 各務原市フレイル予防健康会
- calm heart yoga (カームハートヨガ)

中央町ボランティアハウスひまわり会が、「あなたの体・脳を動かして楽しもう」の主題の下、各務原市フレイル予防健康会と calm heart yoga の協力で、ボランティアハウスを開催し、23人が参加しました。



■ ひまわり会「高齢者親睦会」

日時：令和6年11月15日(金)午前9時30分～11時30分
場所：中央町公民館

- 各務原市フレイル予防健康会
- calm heart yoga (カームハートヨガ)

ボランティアハウスひまわり会が「高齢者親睦会」を開催し、40人が参加しました。西野歌謡教室の西野和恵さんのエレクトーン伴奏で歌を歌い高齢者親睦会がスタートしました。次に都山流尺八楽会 岐阜県支部の稲葉正之さんによる尺八演奏が行われ、全員が尺八の調べに耳を傾けました。その後、calm heart Yoga が健康長寿体づくりヨガを参加者に指導。各務原市フレイル予防健康会さんが健康長寿脳トレなどのフレイル予防講座を提供しました。



■ やすらぎサロンでフレイル予防講座

日時：令和6年12月11日(水) 午前10時～11時
場所：羽場町集会場

- 羽場町ボランティアハウス やすらぎサロン
- 各務原市フレイル予防健康会
- calm heart yoga (カームハートヨガ)



羽場町ボランティアハウス「やすらぎサロン」が、各務原市フレイル予防健康会にボランティアハウスの講師を依頼しました。各務原市フレイル予防健康会は、calm heart Yogaと一緒に、椅子に座って行うヨガと脳トレを提供しました。

やすらぎサロンは、毎月第2水曜日の午前10時から2時間、「おしゃべりの場」を開催していますが、出てくる人が固定されがちになっていました。何か目的がないと来場しない方もいらっしゃるため、羽場町自治会連合会で地区社協担当を務める三浦さんが、「特技のある団体に依頼して、お楽しみを提供してもらうことはできないか。」と個別マッチングレポートを参考に検討され、実現に至りました。

■ フレイル予防体操と脳トレ体操で笑顔づくり

日時：令和7年1月15日(水) 午前9時30分～11時30分
場所：蘇原コミュニティセンター

- 各務原市フレイル予防健康会
- calm heart Yoga (カームハートヨガ)
- 中石由里子さん (株式会社 G・EXCEED)



各務原市フレイル予防健康会とCalm heart Yogaが、「フレイル予防体操と脳トレ体操で笑顔づくり」をテーマに講座を提供した「ライフカレッジ蘇原」に、中石さんが見学を訪れ、サポーターとして協力しました。中石由里さんは普段は有料ジムでヨガインストラクターをされていますが、今回は高齢者向けのヨガ(椅子に座ったまま行う)がどのように教えられるのか、高齢者向けフレイル予防の講座がどのようなものかを見学され、ボランティア活動として地域に貢献する事を学ばれました。

＼フレイル予防から派生した協働も／

■ 健康体操のボランティア講師としての第一歩

日時：令和7年2月20日(木) 午前10時～11時
場所：各務原市役所低層棟2階

- マッチングコーディネーター 真野敏さん
- 板津三千子さん



健康体操の講師資格を取得された板津三千子さんが、市内の高齢者に体操を教えるボランティア講師としての活動を希望され、具体的な活動方法について教えてくれる人がいないかとまちづくり推進課に相談があり、マッチングコーディネーターの真野敏さんが、相談に応じました。

当日は、真野さんから板津さんへ、市内で高齢者向けに活動できる場所、高齢者に適したカリキュラムの内容、参加者を飽きさせない工夫などについて、丁寧な説明が行われました。

■ ホットマルシェでヨガ体験と協働活動の打合せ

日時：令和7年2月16日(日) 午前10～午後3時
場所：ニワトリベース (各務原市各務おがせ町レンタルスペース)

- おむすびキッチンリーバーて
- calm heart yoga (カームハートヨガ) など



「CAFEリーバーて」は令和6年12月27日をもって喫茶営業を終了しましたが、令和7年より「おむすびキッチンリーバーて」として、新たな活動を開始。令和7年は、偶数月の第三日曜日に「ホットマルシェ」を開催される予定です。

その第1回の「ホットマルシェ」に、コンテンツの一つとして、calm heart yoga代表の岩崎仁美さんが、ヨガ体験の講師として参加しました。この日は、岩崎さんと日ごろから協働活動を行っている各務原市フレイル予防健康会の真野さんが現地を訪れ、現地にいたEveryone's Home みんなのいえの篠塚千鶴さん、岩崎さんの3人で、今後の協働活動について話し合われました。

地域みんなで！子育て&教育支援

■ 稲羽の昔ばなし「甚六さん」動画に協力

日時：YouTube 動画講座「らららこども講座」
令和6年5月31日（金）公開

- 映像制作団体 地元ぴいす 河合徹也さん
- 火風水 鈴木明美さん
- ダニエル・フォルローさん
- 浅野正子さん
- 各務原国際協会
- 川島ライフデザインセンター



YouTube 動画講座「らららこども講座」において、川島ライフデザインセンターが「いなばの昔話 甚六さん」という動画を制作することとなり、動画撮影・編集に映像制作団体地元ぴいすの河合徹也さんが協力しました。

再話・語りは火風水の鈴木明美さん、音楽はダニエル・フォルローさん、イラスト・題字は浅野正さんが担当。また、翻訳では各務原国際協会の協力、参考文献などでは各務原市教育委員会の協力を得て制作されたとのこと。

■ 子ども起業家育成講座に協力

日時：令和6年6月29日（土）午前9時30分～11時30分

- みき FTP 事務所
- 株式会社エスウッド
- 岐阜県立岐阜各務野高等学校ビジネス科 岡本紗依さん
- 川島ライフデザインセンター



ファイナンシャルプランナーで、みき FTP 事務所代表を務める竹内幹さんが中心となって開催する、川島ライフデザインセンター主催の「子ども起業家育成講座～商品開発部門～」で、株式会社エスウッドの長田さん、実習生である岐阜県立岐阜各務野高等学校ビジネス科の岡本さんが講師として協力し、小学生が5回にわたって、仕事・SDGs・環境について考えながら、ボードを使った新商品を考えました。

初回のワークショップでは「木工団地をもっと知ってもらいたいのでお祭りのようなことをしたいと思うが、どんなことをやったらみんな来てくれるか、どうやってお知らせしたらいいか、知恵を貸してほしい。」というお題に対し、小学生たちがアイデアを発表する機会があり、長田さんは、「子どもたちにもらったアイデアの一つでも二つでも実践することで、子どもたちの喜びに繋がりたい」と、今後の地域づくりへの意欲を語りました。

■ カローリングと体操でたのしさ 100 倍

日時：令和6年7月21日（日）午前10時～正午
場所：中央ライフデザインセンター 大会議室

- 各務原市レクリエーション協会
- 各務原市ラジオ体操連盟
- 中央ライフデザインセンター



中央ライフデザインセンター主催の2024夏休み子ども講座「カローリングと体操でたのしさ100倍」で、各務原市レクリエーション協会と各務原市ラジオ体操連盟がコンテンツを出し合って充実した講座を開催し、小学生22人とその保護者17人の39人が参加しました。

■ 各務原高校の地域探求型授業に講師協力

日時：令和6年9月2日（月）午前11時50分～午後0時40分
令和6年9月9日（月）午後3時20分～4時10分
場所：岐阜県立各務原高等学校

- 岐阜県立各務原高等学校
- 各務原映画祭実行委員会
- あそびとアートと空と月



高校生の地域探求型学習授業の一環で、まちづくり活動に興味を抱いた生徒たちからの「話を聞いてみたい」という希望に、各務原映画祭実行委員会と、あそびとアートと空と月が応じ、高校2年生20人を前に授業を行いました。

■ 鵜沼第二小校区子ども会クリスマス会

日時：令和6年12月7日(土) 午後1時～5時

場所：各務原市少年自然の家

- 鵜沼第二小学校区子ども会
- 岐阜友の会
- NPO 法人中部大道芸ネットワーク
- 松田接骨院
- ハッピーノルディックウォーキング
- フェニックス・グループ
- 鵜沼中学校生徒（ボランティア）



鵜沼第二小学校区子ども会のクリスマス会が、各務原市少年自然の家で開催されました。開催に当たり、フェニックス・グループのカフェGA楽で10月19日(土)に行われた「まちのあつまり 子ども会議」で相談があり、子ども会からの相談に応じた複数の団体が、それぞれのできることを提供し、クリスマス会の開催を支援しました。

少年自然の家のプログラムの一つである「小枝のスプーンづくり」では、中学生ボランティアが活躍。ボランティア提供は、ハッピーノルディックウォーキングの豊倉さんからの鵜沼中学校への呼びかけにより実現し、手を挙げた生徒は、少年自然の家での職業体験での経験が参加のきっかけとなったそうです。

大道芸のステージは、中部大道芸ネットワークの「オマールえび」こと鈴村仁志さんが、絵本と大道芸を組み合わせたプログラムを提供。その後、バルーンアートを子どもたちに指導しました。

クリスマスプレゼントには、岐阜友の会が手作りのクッキーを提供。会場装飾は、松田接骨院の松田さんが、自身の特技を生かしてバルーンアートのクリスマスツリーを提供し、子どもたちがツリーと一緒に写真を撮る様子が見られました。

子ども会育成会長の森さんは、「学校で一つの子ども会になったことで、関わることができる保護者役員の数が減り、なかなか思うように活動できずにいましたが、皆さんに相談することでやりたいことが実現し、役員一同、大変感謝しています。」と関係者に伝えられました。

■ 吉新ふれあい食堂 おたのしみかい

日時：令和6年12月11日(水) 午後5時～7時

場所：進禄寺（蘇原吉新町2丁目）

- ふれあい食堂
- 進禄寺
- 一般社団法人健康応援隊
- 各務原市社会福祉協議会

蘇原吉新町のふれあい食堂が、「おたのしみかい」としてスペシャルメニューでの地域食堂を開催し、およそ75名が参加しました。11月にラブレターで「管理栄養士の経験を生かして、子ども食堂でのお手伝いがしたいです」とオファーをした、一般社団法人健康応援隊の古田美保さんがボランティアで協力しました。



■ 合歡の木南幼稚園 ミニ SL 乗車会

日時：令和6年12月24日(火曜日) 午前10時～11時

場所：合歡の木南幼稚園

- 合歡の木南幼稚園 父母の会
- ミニ SL 各務原

合歡の木南幼稚園の父母の会主催のイベントとして、園児98人がミニ SL 各務原の提供するミニ SL 乗車会を楽しみました。ミニ SL 各務原の代表である尾関さんは、「園児の保護者たちに口コミで知られ、求められることは嬉しい。要望があれば、可能な限り応えていきたいです。」と話されました。



■ 合歡の木幼稚園 ミニ SL 乗車会

日時：令和7年1月21日(火曜日) 午前10時～12時

場所：合歡の木幼稚園

- 合歡の木幼稚園 父母の会
- ミニ SL 各務原



合歡の木幼稚園の父母の会主催のイベントとして、園児160人と、令和7年4月入園予定の子どもなど40人が、ミニ SL 各務原の提供するミニ SL 乗車会を楽しみました。大満足の子も達を見たミニ SL 各務原の皆さんは「来年もまた会おうね」と、子ども達に声をかけました。

イベント開催で協働

■ 第2回吉新マルシェ

日時：令和6年4月27日(土) 午前10時～午後3時

場所：進禄寺

- 吉新町自治会
- 進禄寺
- ふれあい食堂
- コミュニティハウスおやこりすの森



吉新町で活動するふれあい食堂が主体となり立ち上がった「吉新マルシェ実行委員会」の主催で、進禄寺において「第2回吉新マルシェ」が開催されました。第2回の開催は当初3月23日(土)に予定していましたが、雨天で延期し、今回の開催に至りました。

令和5年11月の第1回吉新マルシェでは、ふれあい食堂からの相談に応じたキッズボランティア リトルハンドの子どもたちが子ども向けのお楽しみブースでのお手本を示しましたが、今回は第1回での経験を生かしてお楽しみブースを吉新マルシェ実行委員会が担い、相談時にアイデアとして出ていた「紐くじ」や、お手本で見せてもらった「スーパーボールすくい」を提供しました。

子どもたちは、普段から地域食堂で顔を合わせるスタッフとコミュニケーションをとりながら、紐の先についた目当てのお菓子を狙うなどゲームを楽しんでいました。また、来場者は、「地域の人たちと話す機会になって嬉しい。」と、ステージで披露される歌声を聞きながら買い物を楽しんでいました。

■ 古民家えんがわ「まちカフェ」

日時：令和6年5月14日(火)正午～午後1時

場所：古民家えんがわ

- 一般社団法人まちのごえん
- 株式会社 Re Ludens(リルーデンス)
- カイロプラクティックよつは



やりたい人がやりたいことを自由にできる居場所として一般社団法人まちのごえんが会場を提供している「古民家えんがわ」で、地域の方がホッと一息つける場を提供したいと、リルーデンスの水野さんによる手作りランチと、カイロプラクティックよつはさんによるワンコインカイロプラクティックを楽しむ「まちカフェ」が開催されました。

令和5年から毎月定期開催し、定番となった「まちカフェ」には、双子育児中の母親やその子ども、子育てを終えた母親、市内にある古民家に移住してきた男性などが訪れ、手作りランチを囲んで和やかなひとときを過ごしていました。

ランチ中には、よつはさんが双子をあやしながら、母親の食事時間をサポートする姿がありました。双子育児中の母親は、「本当は抱いてミルクをあげたいけれど、余裕がない。こうした場で、他の大人の手を貸してもらえると、一息つけることが、本当にありがたい。」と話しました。また、古民家えんがわの庭にできたピザ窯には、流木アーティストのリンゴ丸さんの手により、カラフルな雨除けの屋根がつけられ、会場に彩りを添えていました。

■ KAKAMIGAHARA NIGHT MARKET 盆踊り

日時：令和6年7月27日(土)・28日(日)

8月17日(土)・18日(日)

9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝)

場所：各務原市民公園

- Sunny Days Market
- 各務原市民踊連盟



7月～9月の土日複数日、市民公園での「KAKAMIGAHARA NIGHT MARKET」の開催を計画する実行委員会で中心を担う Sunny Days Market からの「盆踊りの会場でお手本として踊っていただけませんか。」という相談に、各務原市民踊連盟が応じました。

Sunny Days Market は、「コロナ後、各地で住民によるお祭りが復活してきているものの、その地域の住民でない人は参加することができない、制限があるなど、自分たちが子どものころに友達とお小遣いを握りしめて楽しんだ夏祭りの形は失われつつある。お祭りが失われた地域の人も気軽に自由に参加できるような夏祭りを提供したい。」と「KAKAMIGAHARA NIGHT MARKET」の趣旨を説明。令和5年度も来場者が一緒になって楽しむことができるように盆踊りを試みたものの、踊りを知らない人ばかりで本来の目的を果たすことができなかったため、令和6年度は各務原市民踊連盟に協力を依頼。各務原市民踊連盟は7日間にわたり場を盛り上げ、子どもからお年寄りまで、性別や国籍を問わず多数の参加者が盆踊りを楽しみました。

■ NIGHT MARKET の盆踊りを外国人市民の日本文化体験の場に

日時：令和6年8月17日(土)午後7時～9時

場所：各務原市民公園

- Sunny Days Market
- 各務原市民踊連盟
- グローカルファミリー

Sunny Days Market が開催する KAKAMIGAHARA NIGHT MARKET の盆踊りを、外国人市民のための日本語教室を開催するグローカルファミリーが、外国人市民が日本文化を体験する場として活用しました。

7月27日(土曜日)の協働事例を見たグローカルファミリーから、「日本語教室で日本文化を学ぶ外国人市民にも夏祭りを体験させてあげたい」とイベントへの参加の申し出があり、各務原国際協会の支援を利用する外国人市民や留学生などに声を掛け、18人が来場。13人が浴衣を着用して盆踊りに参加しました。着付けには、西ライフデザインセンターの和室を利用し、留学生のホストファミリーや有志市民が協力しました。盆踊りでは、Sunny Days Market の森島さんが、外国人市民の方も参加がしやすいよう盆踊りの曲数を絞って曲を流しました。また、各務原市民踊連盟の皆さんは外国人市民の方に積極的に声を掛け、手元や足元の動きを伝えました。楽しそうに踊る多国籍の老若男女の様子を見て、子ども連れの家族や、散歩でたまたま訪れた地域住民、帰省中の各務原出身の大学生、出店者なども輪に加わり、初対面の人同士で互いに言葉を交わす場面も見られました。



■ 加佐美神社納涼祭盆踊り 2024

日時：令和6年8月16日(金)午後1時～3時

場所：加佐美神社

- 蘇原音頭復興推進委員会
- 蘇原北連合自治会
- 民舞踊黒川会
- 各務原市民踊連盟
- 加佐美神社



蘇原音頭復興推進委員会が主体となり、加佐美神社で盆踊りが開催されることになり、盆踊りに先駆けて練習会が行われました。復興した蘇原音頭などの盆踊りを、民舞踊黒川会の黒川さんを中心に各務原市民踊連盟に加入するメンバーが地域住民に指導しました。

蘇原音頭は、かつて小学校や地域の盆踊り大会などで踊られていましたが、いつしか地域の盆踊りがなくなり、振り付けを知る人も高齢になりつつありました。そうした状況に、令和元年に「蘇原音頭復興推進委員会」が立ち上がり、当時の蘇原北・蘇原南の連合自治会が中心となって蘇原音頭の復興に尽力。JAみのっ太基金の支援も受け、当時3番までだった蘇原音頭に歌詞を追加し5番まである「新蘇原音頭」としてCDを200枚制作し、当時の自治会長などに配ったと言います。また、振り付けは民舞踊黒川会の黒川さんが中心となり、住民が覚えていた踊りをもとに仕上げました。当時、蘇原中学校のプラスバンド部の協力も得て、市主催のイベントで披露しようとしていた矢先にコロナ禍となり、復興した「新蘇原音頭」が盆踊りで踊られることがない状態となっていました。

今回、コロナ禍が明けて再び盆踊りができる状況となりましたが、蘇原北地域で盆踊りを行う地域がなくなってしまったことを受け、蘇原音頭復興推進委員会が加佐美神社に相談。神社を盆踊り会場として使わせてもらえることになりました。

納涼祭盆踊りは8月25日(日曜日)午後5時～10時開催されました。

■ FC 岐阜の試合前イベントで盆踊り

日時：令和6年9月14日(土) 正午～午後2時30分

場所：岐阜メモリアルセンター長良川競技場 芝生広場

- 株式会社岐阜フットボールクラブ
- 各務原市民踊連盟

FC 岐阜の試合前のイベントとして、盆踊りの場が設けられ、各務原市民踊連盟のメンバー12人が手本を見せながら「ミナモ」「ギッフィー」などのキャラクターと共に盆踊りを盛り上げました。

8月31日(土曜日)のFC岐阜のホームタウンデーでのイベントで盆踊りを開催することになり、「各務原市の団体にご活躍いただけないか」という株式会社岐阜フットボールクラブからの相談に、各務原市民踊連盟と各務原太鼓保存会が応じられましたが、当日は台風の影響が懸念されたため、イベントは中止(試合は実施)となりました。当日は雨が降っていなかったため、各務原太鼓保存会はオープニング演奏を行いました、ホームタウンデーでの盆踊りは実施できませんでした。

しかし、「せっかくなのでホームタウンデーでなくても盆踊りだけ実施できたら」と株式会社岐阜フットボールクラブからのご提案があり、今回改めて盆踊りの場が設けられることになり、協働に至りました。

盆踊りでは、チアダンスのチームやFC岐阜のサポーター、スタッフなどが輪に加わり、各務原オリジナルの「新各務原音頭」や、「川崎」、「春駒」、「炭坑節」などの昔ながらの曲、「ダンシングヒーロー」、「踊るポンポコリン」などの若い世代にも親しみのある曲が用いられました。

岐阜市出身のFC岐阜サポーターは、「新各務原音頭、初めて踊りました。」と言いながらも、各務原市民踊連盟の皆さんからの指導を受けながら仲間と共に踊りを楽しんでいました。



趣味・特技・学びを地域に還元

■ 卯花月のティータイム・コンサート

日時：令和6年4月26日（金）午後2時30分～4時

場所：ギャラリー&カフェ204

- 創作オペラ「貞奴」プロジェクト
- ギャラリー&カフェ204
- 田中佐京



ギャラリー&カフェ204で、創作オペラ「貞奴」プロジェクトと、

雅楽奏者である田中佐京さんが協力して「卯花月のティータイム・コンサート」を開催し、19名が参加しました。

田中さんとギャラリー&カフェ204、双方につながりのある創作オペラ「貞奴」プロジェクトが橋渡し役となり、コンサート開催に至りました。

声明（しょうみょう）というオリジナル曲では、創作オペラ「貞奴」プロジェクト代表でありオペラ歌手の金光順子さんがスキャットを入れ、参加者もハミングで合唱し、この時限りの音楽を楽しみました。

今回、田中佐京さんの雰囲気に合わせてバックには、創作オペラ「貞奴」プロジェクトの藤田さんが所有する日光写真技法を応用した自然がモチーフの美術作品を用いることとし、ギャラリー&カフェ204の永縄さんも設営に大いに協力しました。

■ GOZARE（ゴザレ） まちのあつまり

日時：令和6年9月29日（日）午前10時～午後0時30分

場所：カフェGA楽

- フェニックス・グループ
- WB・T（ウッドバーニング）
- 各務原市民踊連盟
- 岐阜友の会
- 株式会社グリーンスマイル
- コスモキルト
- 仲よし会
- ハッピーノルディックウォーキング
- NPO法人ひだまり創
- 結愛ポート ほか



フェニックス・グループのカフェGA楽で、地域共生社会を目指すゴザレプロジェクトによる「まちのあつまり」が開催され、呼びかけに応じた35人が参加しました。地域の子ども会のあり方や、子どもたちに対してできそうなことのほか、各地域の状況なども共有されたほか、11月23日（土）に開催予定の「GOZARE ARTs（ゴザレアーツ）」の展示やステージで協力できそうなことなどが話し合われました。

また、地域の宝物である子どもたちを地域でどう見守り支えていくか、という視点で改めて話し合う場を持つと、10月19日（土）10時から「子ども会議」と銘打って、「まちのあつまり」のスピンオフ企画も生まれました。

■ まちの文化祭

日時：令和6年11月23日（土）午前10時～午後3時

場所：フェニックス総合クリニック

- フェニックス・グループ
- 仲よし会
- NPO法人ひだまり創
- 各務原市民踊連盟
- プアケニケニ
- フラサークル ウリウリガール
- コスモキルト
- 岐阜友の会
- カー&タイヤ グリーンスマイル ほか



フェニックス・グループが、まちづくり担い手マッチング事業参加団体に、「Gozare Project まちの文化祭への参加依頼」のラブレターを出して、ラブレターに呼応した団体が参加して、まちの文化祭を盛り上げました。

「地域の活動を応援し、発表や交流の場を提供したい」という思いから開催された「まちの文化祭」には、地域のクリエイターやアーティストが集まり、発表部門と展示部門に分かれ、またキッチンカーも多数勢ぞろいして、にぎやかな文化祭となりました。

■ 各務原市民踊連盟第 1 回サークル発表会

日時：令和 6 年 10 月 7 日(月)午後 1 時～3 時

場所：蘇原コミュニティセンター

- 優美会
- 野菊の会
- 朝日民踊クラブ
- ミセス民踊
- 那加二民踊
- あげぼの
- 民舞踊黒川会



各務原市民踊連盟が第 1 回サークル発表会を開催しました。各務原市民踊連盟に加入している各務原市内の踊りサークル 7 団体(37 人)が集まり、新旧の得意な踊りを披露しながら、参加者同士の交流と親睦を深める場となりました。

各サークルが初めて一堂に集まった発表会で、それぞれのサークルが得意な演目を踊り日ごろの練習成果を披露して、伝統文化を再確認。各サークルが交流を深め、踊りの魅力を共有し、地域の踊り文化を活性化する貴重な機会となりました。

■ 恵那峡もみじまつりで「第 3 回貞奴芸術祭」

日時：令和 6 年 11 月 10 日(日)午後 1 時～2 時 30 分

場所：恵那峡ウッドデッキテラス

- 創作オペラ「貞奴」プロジェクト
- 映像制作団体地元びいす
- 河田秀正堂
- 三郷会（恵那市の合唱団体）
- 茅ヶ崎音貞オッペケ祭実行委員会（茅ヶ崎市で活動する市民団体）



創作オペラ「貞奴」プロジェクトが、恵那峡もみじまつりの会場で、川上貞奴にゆかりの深い大井ダム・発電所の竣工 100 周年記念コンサート（第 3 回貞奴芸術祭）を開催しました。

当時のエピソードに着想を得た新曲も盛り込み、コンサートの最後には貞奴をテーマにつながりのある「茅ヶ崎音貞オッペケ祭実行委員会」、恵那の地元合唱団体である「三郷会」、来場者とともに「激しい時代を生きた」を合唱しました。

このイベントの映像記録を、映像制作団体地元びいすが担当しました。また、各務原市内の和菓子店である河田秀正堂も出張出店し、貞奴をテーマにつくられた和菓子の販売で場を盛り上げたほか、コンサートにも創作オペラ「貞奴」プロジェクトメンバーの一員として出演しました。

■ 睦月・生み月・早緑月のハッピー・コンサート

日時：令和 7 年 1 月 24 日(金) 午後 2 時 30 分～4 時

場所：ギャラリー&カフェ 204

- ギャラリー&カフェ 204
- 創作オペラ「貞奴」プロジェクト
- 安藤風季音楽事務所



ギャラリー&カフェ 204 で、創作オペラ「貞奴」プロジェクト主催の企画として、ソプラノ歌手の安藤風季さんによる「睦月・生み月・早緑月のハッピー・コンサート」が開催され、19 名が参加しました。ピアニストの河田真由美さんが伴奏を行い、一般社団法人プルヌス・ベルシカも構成や広報に協力しました。創作オペラ「貞奴」プロジェクトは、15 年前から市民オペラにより川上貞奴の生涯や功績を周知する活動をしています。事務局長の藤田さんは、「欧州のオペラは制作者が没後 100 年以上も公演され続け、レガシーを継いでいます。

オペラ貞奴の活動も 15 周年となり、初期メンバーも 15 年分年を取りましたが、今後も作品が市民に愛され永く公演され続けるように、たくさんの方に作品を知ってもらい、新しい方にも想いを引き継いでいきたいと思っています。」と話されました。

ギャラリー&カフェ 204 のオーナーである永縄さんは、カフェでのコンサートについて「よい企画を提案ただけて嬉しい。今後も地域に住む芸術家の活動を応援したいと思っています。」と話し、今後予定されている企画なども来場者に案内されていました。

みんなで地域をきれいに

■ 大安寺川のボランティア清掃

日時：令和6年5月9日(木) 午前9時30分～11時30分
場所：大安寺川(ホテルの里～国道21号線の区間)

- 平和堂うぬま店
- 大安寺川ホテルを育てる会
- 中山道鶺沼宿まちづくりの会
- 中山道鶺沼宿ボランティアガイドの会

平和堂東海地区出店20周年の事業として平和堂うぬま店が主催し、清掃活動を行いました。

平和堂うぬま店の店員34名と、ボランティア3団体23名の総勢57名が、国道21号線から北上ルート、中山道から北上ルート、ホテルの里から南下ルートに分かれて、緑ゴミ36袋・可燃ゴミ10袋・不燃ゴミ1袋・缶ゴミ1袋の合計48袋を回収しました。



■ 木曽川遊歩道アダプト活動

日時：令和6年10月27日(日) 午前9時～11時
場所：木曽川遊歩道(テラスノバ鶺沼インプレス前の遊歩道)

- 木曽川河畔の文化的景観を守る会
- 株式会社ダイナム

木曽川河畔の文化的景観を守る会による月例アダプト活動が開催されました。

今回は、木曽川河畔の文化的景観を守る会が、「地域コミュニティ活性化シンポジウム」と同時開催された「まちづくり活動パネル展示」に参加した時に知り合った株式会社ダイナムに「協働活動のラブレター」を出し、それに株式会社ダイナムが呼応する形で実現した協働アダプト活動になりました。また、今回はこのアダプト活動に共感した個人も参加し、合計16人でのアダプト活動になりました。

清掃の作業範囲は、テラスノバ鶺沼インプレス前の遊歩道で、擁壁に生えた雑草や低木および蔦を除去したり、道路沿いの雑草を除去したりして、秋の爽やかな風が吹く中で、参加者たちは清掃に励みました。アダプト活動の成果として、緑ゴミ25袋が回収されました。



■ 川と海の環境保全大作戦(大安寺川清掃活動)

日時：令和6年11月16日(土) 午後1時30分～午後2時30分
場所：大安寺川(鶺沼西町～鶺沼古市場町)

- 各務原ライオンズクラブ
- ボーイスカウト岐阜県連盟 各務原第一団・各務原第二団
- キッズボランティアリトルハンド
- イオンビッグ株式会社 ザ・ビッグエクストラ各務原鶺沼店
- 株式会社大雄
- 南町ホテルの会
- 鶺沼西町仲よしクラブ
- 大安寺川桜を守る会
- うぬまなかこども園 年長組

各務原ライオンズクラブの主催により、「川と海の環境保全大作戦」として、大安寺川の清掃活動が行われました。

清掃は、国道21号南側のザ・ビッグエクストラ各務原鶺沼店の東から、にんじん通り南側までの両岸を、8つの団体・法人が合同で行いました。

また、清掃活動に先立ち、南町ホテルの会と株式会社大雄が大安寺川内の除草を行い、うぬまなかこども園年長組がゴミ拾いをしました。

当日はライオンズクラブ18人、リトルハンド26人、その内ふれこみ隊4人・引率の先生2人、イオンビッグ20人、ボーイスカウト30人、南町ホテルの会8人、鶺沼西町仲よしクラブ15人、大安寺川桜を守る会2人の計119人での活動となり、可燃ゴミ9袋・空き缶2袋、不燃ゴミ(傘2本・コンロ1個、割れた瓶や陶器少量)が集まりました。



※延べ参加者数 170人

※延べ収集物 可燃ゴミ11袋、空き缶2袋、不燃ゴミ(傘2本・コンロ1個、割れた瓶や陶器少量)

様々なコラボレーション

■ オーガニックについて意見交換

日時：令和6年6月6日(木) 午前9時～10時30分
場所：市民交流スペース

- 性教育団体「いのちの授業」ここいく
- 結愛ポート
- 大竹良知



令和6年1月20日(土)に開催の「まちづくり活動助成金公開報告会」の交流会で、互いに土壌環境やオーガニック農法に興味があることを知った各団体。今回、大竹さんからのリクエストにより、意見交換の場が設けられました。意見交換では、市内で有機農法での野菜作りをしている人や、有機農法で作られた野菜が欲しいと考えている人たちの情報について共有しました。

■ 畑の利用

日時：令和6年8月1日(木) 午前10時～10時30分
場所：水野さん所有の畑

- 株式会社 Re Ludens (リルーデンス)
- 安江 千佳さん



安江さんの「レモンやリンゴの木が植えられる畑を貸してくれる人を探しています」という相談に、耕作放棄地になっている農地をもつ株式会社 Re Ludens の水野さんが応じ、双方合意の上、安江さんが畑を利用することになりました。

■ 心と体の健康を保つためにコラボレーション

日時：令和6年8月18日(日) 午前10時～11時30分
場所：産業文化センター2階第4会議室

- Tri-Angle
- 各務原市ラジオ体操連盟
- 各務原市フレイル予防健康会

Tri-Angle が主催する「まちなかミニ塾」で、心と体の健康を保つためにストレスを溜めない生き方を学ぶことをテーマにした勉強会が行われました。「健康」という共通するテーマがあることから、各務原市ラジオ体操連盟、各務原市フレイル予防健康会から勉強会の参加者へ情報提供を行う時間が設けられ、ラジオ体操スタンプ帳やフレイル予防について書かれた資料も配布されました。



■ プロペラナイフを作ろう 巡り回る～命とプロペラ～

日時：令和6年11月30日(土) 午後1時～4時
場所：産業文化センター2階第1会議室

- NPO musubi (むすび)
- NPO 法人 MACH B&F (マックビーアンドエフ)



岐阜県の「令和6年度地域版ぎふ木育プログラム開発事業」として「プロペラナイフを作ろう 巡り回る～命とプロペラ～」というイベントを企画する NPO musubi の吉田さん・松井さんが、サポーターとしての協力を求めて飛行機作りの知識を持つ MACH B&F に相談。NPO 法人 MACH B&F メンバーであり岐阜かかみがはら航空宇宙博物館でボランティアを担う柳瀬元昭さんと、航空機産業に携わる柳瀬文昭さんが相談に応じました。ワークショップでは、サポーター養成講座に応募した山田京子さん、八木良子さんを含む4人が、NPO musubi のメンバーとともに、小刀を使いオニグルミの木で飛行機のプロペラの羽の形を模したバターナイフをつくる作業を、参加者に指導しました。

■ 健康な野菜と人を育てる土づくり

日時：令和7年2月24日(月) 午前10時～12時
場所：古民家えんがわ

- 一般社団法人まちのごえん
- 結愛ポート



一般社団法人まちのごえんが、活動拠点である「古民家えんがわ」の畑を利用した、有機農法による農園を開きたいと有機農法の指導者を探していた折、結愛ポート代表の各務亜紀さんが講師として協力して頂けることになり、今回の「菌ちゃん農法土づくり講座」が行われました。当日は、15組(大人19人、子ども11人、乳児1人)が参加し、各務さん指導の下、微生物を活かした土づくり講座が行われました。



次年度以降のお知らせ

まちづくり担い手マッチング事業は、令和7年度も、様々なテーマで活動しているまちづくり活動団体同士が結び付ききっかけを提供し、「つながりづくり」を促進してまいります。ぜひ、ご活用ください。

1. 参加団体募集&団体情報掲載（令和7年7月頃 募集開始・随時受付予定）

令和7年度も、参加団体の募集を予定しています。

参加申込を受け付けた団体の情報は、マッチングリストとウェブサイトに掲載します。

令和6年度事業の参加団体さんには、更新の有無をご確認いただきますので、お知らせが届きましたらご協力をお願い致します。

2. ミニ交流会（令和7年4月～令和8年1月頃、計6回程度開催予定）

団体同士の情報を共有したり、アドバイザーから実践的なアドバイスを受けたりしていただけるような小規模交流会を計画しています。開催時期や内容は、参加団体に個別にお知らせします。

「こんなテーマで交流してみたい」など、ご希望があるときは、まちづくり推進課までご相談ください。

3. ラブレター&個別マッチング（随時）

参加団体へのオファーをしていただくツールとして「ラブレター」をご活用ください。

また、協働相手を探すためのご相談や、顔合わせでの同席なども承りますのでお声掛けください。

4. 個別マッチング取材レポート（随時取材・ウェブ掲載）

事業がきっかけで協働につながった事例やその後の拡がりについて、参加団体から情報提供をいただいたものを取材し、ご紹介します。

皆さんの経験談が、これから協働する皆さんの参考になります。

「今度、〇〇さんと、こんな話をするよ！」

「こんなことがきっかけで、一緒に〇〇をすることになったよ！」

「つながりを活かしたら、こんなことができたよ！」

など、

ぜひ情報をお寄せください！！



きっかけツール「ラブレター」

この「ラブレター」は、まちづくり担い手マッチング事業参加団体同士が
つながるきっかけとしていただくものです。

「マッチングリスト」掲載団体に連絡を取りたいとき・アプローチしたいとき、
以下の「ラブレター」に、伝えたい内容を記載して
まちづくり推進課 または 直接団体へ お持ちください。（複数必要な方はコピーしてお使いください。）

まちづくり担い手マッチング交流会
ラブレター

宛先	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">団体番号</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">団体名</div>
-----------	--	---

さんへ

わたしたちが、あなたの団体に

- 提供できそうな
- 助けて欲しい

ことは…

.....

.....

.....

わたしたちの団体名・連絡先

.....

.....

.....

この「ラブレター」は、お返事や協働を強要するものではありません。受け取られたラブレターが、
貴団体にとって興味のない提案でしたら、無理にご対応いただく必要はありません。

もし、内容をご覧になって「お話を聞いてみてもいいな」と思われた場合は、送り主の団体にご連絡いただくか、まちづくり推進課までご連絡いただけましたら幸いです。

事務局

各務原市 市長公室 まちづくり推進課

〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69 ☎ 058-383-1997

✉ machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

相談
窓口

広報課・福祉政策課・高齢福祉課・いきいき楽習課・観光交流課・文化財課
各務原市社会福祉協議会・まちづくり推進課



まちづくり担い手マッチング事業 参加申込書

団体名			
団体所在地			
団体ホームページ			
代表者名			
設立年月		会員数	人
活動目的			
活動実績			
主な活動場所			
団体連絡先			

お手伝いします

手伝ってください

こんなことができます

こんなときに声をかけて

これ、貸せます

まちづくり担い手マッチング事業への参加・リスト掲載内容の変更は、随時受付しています。

ご希望の場合は、■まちづくり推進課に参加申込書をご提出いただくか

■専用フォーム (<https://logoform.jp/f/CNyUx>) からお知らせください。



